

アイデア募集なども行い、そのことについて継続性などの観点から実証、検討を行っていききたい。  
内外からの水島に対する意識をよく調べまして、地域の魅力発信、そしてにぎわい創出につなげていきたい。

# 令和元年9月 定例会 一般質問

- 1 教育行政について
- 2 倉敷市第七次総合計画について
- 3 選挙行政について
- 4 ボートレース事業について

## Q 倉敷市21世紀学校給食検討委員会条例を廃止した後は給食調理場の整備計画の策定にどのように取り組むのか。

### A 教育次長

令和元年の4月26日に、倉敷市学校給食調理施設適正化検討委員会からいただいた倉敷市学校給食調理場整備方針には、まずは代替調理可能な共同調理場をできるだけ速やかに設置することが必要であるとされている。

**倉敷市教育委員会としては、この整備方針を受けて、現在、代替調理可能な共同調理場の設置について検討中。**

**代替調理可能な共同調理場の設置場所や調理食数の規模は、他の自校方式調理場の更新の時期などに影響があるため、具体的な調理場の整備計画の策定については、まずは代替調理を行うために設置する共同調理場の場所と規模を決めた上で、自校方式の調理場も含めた更新計画を作成していきたい。**

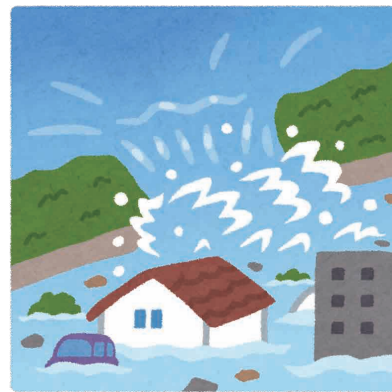


## Q 平成30年の西日本豪雨災害により被災した校舎に浸水の目印を残し、西日本豪雨災害の教訓として後世に伝えることはできないのか

### A 教育次長

平成30年の豪雨災害により、川辺小学校や真備東中学校、真備陵南高等学校では校舎1階の天井付近まで、また、箭田小学校や真備中学校では校舎2階の床まで浸水した。

**倉敷市教育委員会では、被災した校舎に浸水した位置を表示し、豪雨災害の教訓として後世に伝えることは、防災教育の観点からも大切であると考えている。今後、浸水した位置を表示する場所や表示の方法等について検討する。**



## Q 新たに策定する倉敷市第七次総合計画の策定についてはどのような手法で進め、今後の策定スケジュールをどのように考えているのか。

### A 伊東市長

次期倉敷市総合計画の策定について、現在の第六次総合計画の計画期間は平成23年度から令和2年度までの計画期間となっており、令和2年度中にこれが終了になるので、**令和元年度から策定作業を行っていく。**

今後10年間の倉敷市のまちづくりの基本的な方向性を示すもので、策定に当たっては、人口減少社会に対応していくための地方版総合戦略であります倉敷みらい創生戦略の視点、また、現在国際的な目標となっている持続可能な開発のためのSDGsの視点等についても盛り込んでいくことを検討している。

また、市民の皆様の御意見、そして意識を反映させるという面で、まず無作為抽出の市民アンケートとして、結婚・出産・子育て世代や、高校生や大学生など若い世代も対象としたアンケートも含め、今月から実施していきたい。

全体的なスケジュールは、倉敷市総合計画審議会を11月までに設置し、先ほど申し上げましたアンケート結果、人口推計や倉敷市の現状などをまとめた資料などをもとに、幅広い観点で審議していただきたい。

この第七次総合計画は、基本構想の部分、基本計画の部分、そして実施計画の部分と大きく3段階になると考えており、令和2年度中の完成が必要であるので、今後、まずは審議会を開催し、アンケートの結果なども踏まえて、**令和元年度中に計画の基本構想案について取りまとめ、そしてパブリックコメントや市民説明会などを経て、令和2年度中には基本計画、そして実施計画と進み、令和2年度中に第七次総合計画の策定を行っていききたい。**

## Q スタンド棟整備基本構想及び経営戦略の策定について、今後のタイムスケジュールをどのように考えているのか。

### A モーターボート競走事業管理者

スタンド棟整備基本構想は、平成30年度実施した既存スタンド等調査業務の結果を踏まえ、既存スタンド棟の維持管理費の縮減、入場者数に見合った施設のコンパクト化、駐車場の有効活用など、今後の施設整備のあり方や方向性を示すことを目的に策定する。

基本構想の策定に当たり、新規ファンが親しみやすい施設、若い人やファミリー層、女性が来場しやすい快適な施設、地域との共生を目指した市民の集いや憩いの場となるような施設、コンパクトで効率的な開催運営が可能な施設、ボートレース児島のイメージの向上につながる施設などを、基本的な考えとして進めたい。

次に、経営戦略の策定について、経営戦略とは、公営企業が将来にわたって安定的に事業を継続していくための中・長期的な経営の基本計画であり、本市の行財政改革プラン2016では、平成29年度末までに策定する計画となっていた。

しかしながら、ボートレース業界から従来のボートレース場の施設に加え、子供の遊び場や市民の集いや憩いの場等もあわせ持つ施設整備の考えが新たに示されたこと、また、より詳細に施設、設備の状況を把握する必要があったことなどから、既存スタンド等調査業務の結果を踏まえ、**スタンド棟整備基本構想を策定した後に、令和2年度中に経営戦略を策定するよう作業を進めてまいりたい。**



# 令和元年12月 定例会 一般質問

- 1 大高小学校給食調理場・校舎整備事業について
- 2 防災対策について
- 3 野良猫の不妊去勢への助成について
- 4 文化部活動の在り方に関する方針について

## Q 代替調理可能な共同調理場の設置について、現在の検討状況はどのようになっているのか。

### A 教育次長

**代替調理可能な共同調理場の設置につきましては、児島地区で適地を検討中。**



## Q 洪水ハザードマップの見直しについて

100年に一度程度の降雨量を想定した洪水浸水想定区域から、平成27年の水防法改正で1,000年に一度に警戒レベルが上がった。本市における洪水ハザードマップの見直しについてはどのように考えているのか。